

## 木原記念財団学術賞 推薦等要項

### 〔推薦の対象〕

木原記念財団学術賞推薦の対象は、生命科学分野の50才以下（2026年9月30日締切日現在）の国内の研究者で、高い基礎研究レベルを持つ優れた独創的研究であって、すでにインパクトのある研究成果を上げつつも今後のさらなる発展が大きく期待できる研究を行っている方とします。

ただし、推薦の研究課題で他の著名な賞を受けていないこととします。

### 〔推薦の依頼先〕

生命科学に関する学会、大学、研究機関等及び木原記念財団学術賞受賞経験者に依頼しています。

### 〔推薦の方法〕

(1) 推薦者は学会、大学（学長・学部長、研究所長）、研究機関等の代表者、木原記念財団学術賞受賞経験者（特別賞・応用科学賞含む）とし、1推薦者からの推薦は、原則として1件とします。

(2) 推薦は所定の推薦書（様式1～3）に必要事項を記入の上、研究に係る代表的文献（3編）を共にご用意ください。

(3) 提出方法は、以下となります。

STEP①推薦書（様式1～3）、研究に係る代表的文献3篇（いずれもPDF形式）を当財団webサイトの「学術賞推薦ページ」にアップロードしてください。

STEP②アップロードした際の受付メールの写し、推薦書（様式1～3押印必要）正本1部、研究に係る代表的文献3編を当財団あてに郵送してください。

※提出された推薦書及び添付資料は返却いたしませんので、ご承知おき下さい。

(4) 推薦（アップロード）の締切日は2026年9月30日（水）とします。

※推薦書は下記の当財団のwebサイトよりダウンロードして下さい。

推薦書アップロードも同様となります。

<https://kihara.or.jp>

裏面へ続く

[選考方法及び結果]

(1) 受賞者は、当財団の選考委員会で候補者を選考し、理事会にて決定します。

(2027年3月)

なお、選考に先立ち追加で補足資料の提出を候補者に依頼することがあります。

(2) 選考結果は推薦者及び受賞決定者に通知します。(2027年4月初旬)

(3) 選考結果は公表します。(2027年4月初旬)

[木原記念財団学術賞の内容]

木原記念財団学術賞は毎年原則として1件とし、賞状及び賞金200万円を贈呈します。

[推薦書提出先、連絡先]

(公財) 木原記念横浜生命科学振興財団  
学術賞担当

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-6

Tel : 045-502-4810、Fax : 045-502-9810

E-mail : kiharagakujutsusho@kihara.or.jp



木原記念財団学術賞 直近10回（第25回～34回）の受賞者一覧（敬称略・受賞時）

※過去受賞者については、木原記念財団HPよりご確認ください。

- 第25回 東山哲也 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所教授  
研究課題：植物受精において花粉管誘引を司る分子群の発見
- 第26回 鈴木 勉 東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻教授  
研究課題：RNA修飾の生物学的な役割の解明
- 第27回 佐藤 健 群馬大学生体調節研究所細胞構造分野教授  
研究課題：受精における細胞内オルガネラ変換機構などの発見
- 第28回 北野 潤 国立遺伝学研究所 ゲノム・進化研究系生態遺伝学研究室教授  
研究課題：野生動物の表現型多様化の原因遺伝子の解明
- 第29回 吉村 崇 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所教授  
研究課題：脊椎動物の季節適応機構の解明
- 第30回 杉本 慶子 国立研究開発法人理化学研究所 環境資源科学研究センター  
チームリーダー  
研究課題：植物の器官形成を司る分子機構の解明
- 第31回 宮城島 進也 国立遺伝学研究所 遺伝形質研究系教授  
研究課題：細胞内共生による光合成生物の成立機構
- 第32回 トーマス・マックヒュー 国立研究開発法人理化学研究所  
脳神経科学研究センター チームリーダー  
研究課題：Elucidating the circuits and physiology of hippocampal memory  
（海馬記憶の神経回路とその生理の解明）
- 第33回 鈴木 淳史 国立大学法人九州大学 生体防御医学研究所  
細胞機能制御学部門 器官発生再生学分野 教授  
研究課題：ダイレクトリプログラミングによる細胞運命転換に関する研究
- 第34回 豊田 正嗣 国立大学法人埼玉大学 大学院理工学研究科 教授  
研究課題：植物の感覚を司る刺激感知・情報伝達機構の解明

以上